



中野あきと

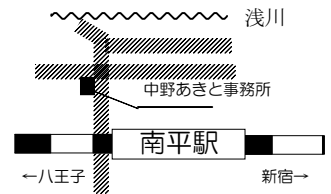
みどりと清流



https://midoritoseiryu.skr.jp

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニユース
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



QRコード、アドレスをご利用になると、創刊号より検索できます

①不正、違法が問われた問題の背景や構造を整理しながら、検証・総括を進めること
②検証を通じて一連の不正、違法を可能たらしめた組織的原因を明らかにすること
③法律家、区画整理の専門家、自治体・行政の経験者、市民など客観的、多面的な立場から検証できる体制をつくり、原因

日野市は、予算を計上した理由を「同組合への助成金が科目偽装等により不当に取得された問題をめぐり、これらの行為が行われた背景や原因に対する市の分析が妥当であるかを検証するため、第三者である専門家等の知見・意見を求めるもの」と説明しました。

川辺堀之内土地区画整理をめぐる不正問題で、中野あきと市議が3月議会の一般質問で提案していた「検証のための第三者委員会」が設置される方針であることが明らかになりました。6月議会に提案される補正予算に弁護士など第三者委員に対する予算が計上されていることが判明しました。

日野市が第三者委員会設置へ

川辺堀之内土地区画整理組合の助成金詐欺事件等で

【予告】中野あきと市議6月議会一般質問 区画整理事業の打開策の提案

中野市議は、6月議会の一般質問で、日野市の土地区画整理事業の歴史的な到達点を踏まえて、抱えている重要課題に対する市の認識・姿勢を正して論戦します。また、河内久男元副市長などの不正によって財政的にも厳しい局面に直面している川辺堀之内土地区画整理事業に関し、市の方針をただしながら、道理にたった解決を求め提案します。(会期 6月3～19日)

と責任を明らかにすることを提案。
これに大坪冬彦市長は、「第三者委員会という提起をいただいた。真摯にその思いを受け止めた上で、どういう形をとるか、ケジメと総括ということに向けて考えていき、実施をしていきたいと思っています」と答えていました。

市内南部丘陵地へのデマンド型交通導入先送り？

この10年来、地域の自治会などから議会にも繰り返し要望が寄せられていた、いわゆる交通空白地域への公共交通の導入問題。昨年の公共交通会議でも、日野市南側丘陵地を初めとした交通空白地域に料金300円、400円で導入を図る方向が示されていました。

ところが、日野第4小学校地区などを運行していた路線バスが事実上廃止になったことに緊急に対応する必要があり、その地域に絞ったデマンド交通の実証導入の方針へ変更するという方針が示されました。

この10年来、地域の自治会などから議会にも繰り返し要望が寄せられていた、いわゆる交通空白地域への公共交通の導入問題。昨年の公共交通会議でも、日野市南側丘陵地を初めとした交通空白地域に料金300円、400円で導入を図る方向が示されていました。



清水と市議を困む南平のつどい

5月26日南平西部地区センターで、清水とし子都議と中野あきと市議を困むつどいが行われました。

清水都議は「都知事を変えて都政に希望を」と、小池都知事の今年度予算に3分の1の7会派42人が反対したことなどに触れながら報告。

中野市議は日野市の不正問題などを報告しました。報告の後は質問や要望を出し合いました。

短信

驚くほど多様な人たちに会う。舞台は東南アジアのマレーシア西海岸マラッカ。3月放映のNHK・BS

「世界ふれあい街歩き」で紹介された。長い歴史の中で支配する国が入替わり、世界各地からさまざまな人が移り住んだ港町だ。モスクの向かいで朝食をとる中国人家族。テーブルにはイスラムではタブーの豚肉入りのシウマイや肉まん。しかし礼拝時間にはちゃんと自粛する。旧市街でみこしを担ぐ中国系の人々。悪霊を追い出す祭りである。一行は賑やかにねり歩くが、モスクやヒンズー寺院の前では静かに歩く。多民族国家ならではの尊重や譲り合い。紛争があっても決して戦争にしない、アセアン諸国の一面を垣間見る思いだった。二世紀半に及ぶ平穏が続いた江戸時代。その中心地の江戸八百八町は全国から人が集中した超過密都市。気質も風習も違う者同士が寝起きする裏長屋は、薄い壁一枚の仕切りで井戸もトイレも共同使用だった。熊いるか」と訪ねても「おお、へえんな」の返事がない限り中には入らず戸の外で用を告げる。お互いの気配りと助け合い意識が、長い平穏を支えたのだらう。近所同士が共存できる平和の枠組みを、北東アジアにも広げたいものだ。角突き合わせ戦争に備えたのは破滅に至った戦前の話。「戦争を起こさない不滅の努力」こそ、今とるべき道ではないだろうか。9条を持つ日本の出番でもある。(K)

歩道が危ない 凸凹の補修を

木の根っこで盛り上がった歩道で大ケガ

ある日、散歩の途中、平山小学校の裏の歩道で転倒し大ケガをしました。幸い骨折などはありませんでしたが、数か月過ぎた今も腕などに傷が残っています。

原因は木の根っこが盛り上げた歩道の凸凹でした。木の根っこは少しずつ歩道を盛り上げますので、気が付きにくいのです。

日野市にはぜひ歩道の点検と補修をお願いします。

(南平にお住まいの男性から、中野あきと市議事務所へ届いた要望です。)



▲男性がケガをした平山小学校裏の歩道の凸凹

<道路の不具合はスマホで> 市役所へ簡単に通知できます

道路の不具合は電話で道路課などに伝え補修の依頼ができますが、スマホなどからも写真を添付して投稿できます。

投稿方法は、日野市のホームページ「道路」で検索できます。



「不登校」を考える シンポジウム

(5月号つづき)
(4月21日開催)

藤森毅さんの発言
(日本共産党文教責任者)



▲報告する
藤森毅さん

「不登校」は心に傷を負った状態です。「不登校」の子を「どこに受け入れるか」ではなくて、子どもの心の傷を理解することを据えることが大事、傷をいやす休息やケアが必要です。

子どもに原因はないし、親のせいでもありません。子どもの心の傷には「教育」の変化が関係しています。不登校が急増した時期は、全国学力テストなど競争の加速、管理教育の加速が進みました。

子どもたちの不登校だけでなく、先生たちも精神疾患による病休者が増えるなど、追いつめられています。

「不登校」の子どもたちをケアし支えることと、教育のあり方を変えることを一体に進め、誰もが生きやすい学校と社会にしていきたい。



蓮舫氏の勝利を必ず

こんにちは
都議会議員
清水とし子です



7月7日都知事選挙

5月29日、日本共産党都議団控室に市民と野党の都知事候補となった蓮舫氏があいさつにられました。50名くらいの報道陣が取り巻くまで、蓮舫氏は都議団の一人一人としっかり握手、「住みやすい、暮らしやすい、あたたかな東京を作らせていただければと思いますので、ぜひ、よろしくお願いします。」と述べました。大山とも子都議団長は「市民と野党の要請に、決意していただいたこと、本当にうれしく思っています」と、都議団からの花束を手渡しました。

市民と野党の「本気の共同」

を象徴するこの映像は、直ちにニュースで流れ、多くの皆さんが「都政が変わる」「変えたい」と思われたのではないのでしょうか。

一方、テレビではコメンテーターが「蓮舫氏は批判ばかり」と攻撃をし、連合は立憲民主党と日本共産党を分断しようと圧力を強め、区市町村長が小池都知事に「出馬要請」を演出するなど、政財界総がかりで蓮舫氏を阻止しようという動きが始まっています。これは、都知事が変わることは、政権交代にも直結する重大な問題だということの証、必ず勝たねばなりません。蓮舫都知事誕生させるために全力を尽くします。

郵便ポストは便利な所に



平山都営の方から「近くに郵便ポストがない」と中野あきと事務所に電話がありました。現場に行ってみると、スーパーアルプスの駐車場から北野街道の横断歩道を渡った信号機の所の狭い歩道に立つ電柱の陰に隠れるようにポストがありました。

ここは以前、コンビニエンスストアが近くにありましたが今は無くなっています。街の様子も年月が経つと変化します。せめてアルプスの入り口近くにあれば、分かりやすく利用しやすいと思います。

※次号は7・8月合併号になります。発行は7月下旬予定です

〔無料法律相談日〕2024年7月

- 4日(木) 午後6時～8時
中野あきと事務所
- 11日(木) 午後1時～3時
市役所6階共産党控室

(お申込み) ☎042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円



蓮舫さん、日本共産党都議団へ

反自民党政、非小池都政の

ALL TOKYO